

水すいえん焰

第 16 号

2019. 1

鶴岡協立リハビリテーション病院
広報委員会

〒997-0346
山形県鶴岡市上山添字神明前38
TEL: 0235-78-7511 FAX: 0235-78-7515
URL: <http://y-mcoop.com/rehabili/>
E-mail: kou-satou@shonai-mcoop.jp

理念

障がいがあっても人間としての尊厳をもって生きることを支援するリハビリテーション医療・介護をめざします。



◀ デイケアを利用されている
井上祐三さんの作品です。
2019年は六十干支の36番目、
己亥(つちのとい)の年です。

2019



▶
デイケア利用者さんの
作品です。





新年のごあいさつ

鶴岡協立リハビリテーション病院

院長 茂木 紹良



明けましておめでとうございます。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。日頃より鶴岡協立リハビリテーション病院を御支援いただきまして、誠にありがとうございます。

ご存知の通り、昨年4月に小規模多機能施設くしびきが開所いたしました。従来の機能に加え、併設のメリットを生かした運動機能の向上、口腔機能の向上、栄養改善等に向け、リハビリ専門職（理学・作業・言語聴覚士）、歯科衛生士、管理栄養士等と連携し、自立支援に向けた支援を開始しました。さて、本年は、これまでの技術に磨きをかけるとともに地域包括ケアの肝である連携をICTの活用により一層の推進をはかります。急性期と回復期の連携、回復期と生活期の連携を見える化し、安全で健康な生活の継続を支援する地域リハビリテーションの役割を引き続き果たしてまいります。更に、昨年12月に成立した脳卒中・循環器病対策基本法に基づき脳卒中リハビリテーションの強化に必要な環境整備を行います。職員一同、なお一層の努力を重ねて参ります。皆様の暖かいご支援を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。



還暦をむかえました

ロボットスーツ HAL医療用下肢タイプ導入開始



HAL医療用下肢タイプ（以下、下肢HAL）とは、装着者が体を動かそうとした時に発生する“生体電位信号”を読み取り、意思に従った動きを実現します。また、下肢HALを通じて体が思うように動くことで、脳神経系の繋がりが強化・調整され、身体機能の改善・再生が促進されます。下肢HALの対象者となる方は、現在は神経難病内の8種類（筋ジストロフィー、SMA、CMT、ALSなど）で、緩徐進行性の神経・筋疾患により歩行機能が低下した方が対象となります。今後、上記疾患以外の患者への適応も拡大していく事が予測されています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【装着写真】

やっと完成!! 手作りラーメン

嗜好調査実施



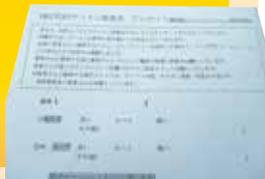
リクエストが多かった
ラーメン提供に向け、
プロジェクトチーム結成

試作を重ねること約2年
スープ、チャーシュー、煮卵、
メンマの味付けまで手作り!

職員を対象に試食会
& シミュレーション



試食した職員からの
アンケートを参考に、
スープ、麺のゆで方
をさらに改良



栄養科では、日ごろ患者さんへの嗜好調査や病棟訪問で入院中に食べたいメニューのリクエストなどをお聞きしています。

いつでも要望があるラーメンでしたので、ラーメンプロジェクトチームを立ち上げ、時間をかけて手作りラーメンの試作を重ねてきました。

患者さんの食事作りでは、いつも美味しい出汁を大切にし、おいしさの素だと思ってきた私たちでしたが、完成まで長い道のりがあり試行錯誤を重ねてやっと仕上がったという印象です。

患者さんへ提供してみて「ラーメンは誰もが知っていて、受け入れられやすく、親しみやすい食べ物」という事を実感しました。

喜んで食べていただいたことが一番ですが、栄養科では2年間試作を重ねたことで、新たな出汁の摂り方や利用方法の検討ができたこと。また他の料理を振り返るきっかけにもなり、良いことばかりです。

この経験を活かしラーメンをよりパワーアップさせ、嚥下障害の方でも食べられるラーメンなど、ますます患者さんから喜ばれる食事の開発をしてきたいと思っています。



患者さんも喜んでくださりました

ついに
初提供



クリスマス会



今年もリハビリ病院の各病棟でクリスマス会が開催されました。華やかに飾りつけられた病棟にひとみ保育園から可愛い小さなサンタさんも来院されました。多くの人の前で緊張されたようです。固まってしまう子やにはかみながらも、チョコチョコと踊る姿はとても可愛らしく和やかな気持ちとなりました。涙ぐまれている方も満面の笑顔になる方もいらっしゃいました。また、病院スタッフの仮装や劇、合唱や演奏等盛りだくさんで皆様楽しまれている様でした。いつもの日常とは違うひと時を一緒に楽しむことができたと思います。

医療安全院内全体学習会

医療安全管理室 五十嵐 みづほ

2018年11月7日(水)と13日(火)に今年度の医療安全院内全体学習会が行われました。今回は、KYT(危険予知トレーニング)のほんとうの意義と題し、全職員でKYTの基本的な考え方とその意義、KYTの具体的な展開方法と現場での活用方法について学びました。更に、教材動画を用いて多職種で患者安全を第一に危険因子についてグループディスカッションを行いました。多職種でのグループディスカッションは、職種間での視点の違いに気付く有意義な機会となり、参加型の研修会として9割以上の職員の満足度を得ることができました。今後、医療安全委員会では自院の教材シートを作成し継続的にKYT研修企画を進展させ、全職員の危機意識向上のみならず、医療安全文化の醸成としてチームSTEPPSの発展に努めていきたいと思ひます。



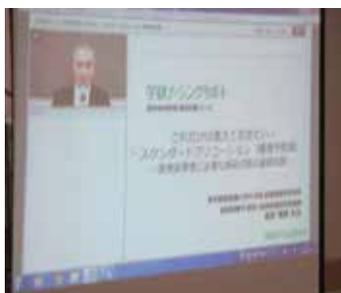
感染症全体学習会

鶴岡協立リハビリテーション病院 感染委員 三浦 直子

鶴岡協立リハビリテーション病院では、10月感染全体学習会を実施しました。

今年度は、医療従事者に必要な感染対策の基礎知識、標準予防策を学習し感染対策の必要性を再学習する。また、自分自身の手洗い方法を見直し感染予防の意識向上を図ることをテーマとし取り組みました。

これからの時期はインフルエンザや胃腸炎が流行する時期であり、感染対策を意識しながら業務に活かしていきたいです。



編集後記

今回は、初めてのラーメン給食や、リハビリロボットスーツHALの導入などをご紹介しました。安全な医療・質の高いリハビリを受けていただけるように、また、長

い入院生活の中で少しでも楽しみをもってもらえるよう、今後も一層励んで参ります。本年も鶴岡協立リハビリテーション病院をよろしくお願い致します。

